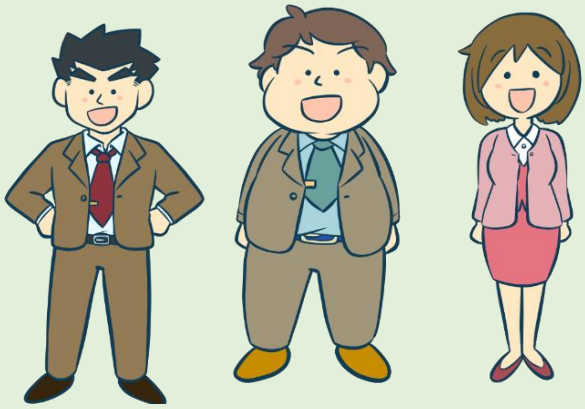
乗 務 員 教 育 テ キ ス ト





2022（令和4）年 12月

1
旅/貨 共通

運転者の運転適性に応じた安全運転

テーマ　適性診断結果を利用するために

■ 押さえておきたいポイント

1 必ず受診しなければならない適性診断もある

2 適性診断では、運転の基本事項チェックや性格診断を行う

3 診断結果は、有効活用をしましょう

1 適性診断とは

適性診断の種類

一般診断

普通免許以上を持っていれば誰でも受診可能で、受診義務はない。

初任診断

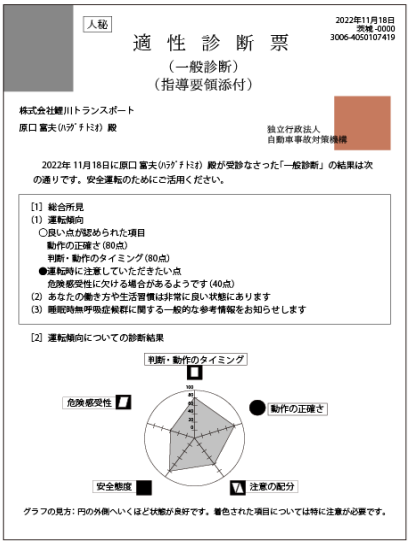
ドライバーとして新たに入社した人に、受診義務がある。

適齢診断

65歳以上のドライバーに受診義務がある。

特定診断

事故を起こしたドライバーに受診義務がある。


人秘
2022年11月18日
茨城 -0000
3006-4050107419
適 性 診 断 票
（一般診断）
（指導要領添付）
株式会社鍵川トランスポート
原口 富夫(ﾊﾗｸﾞﾁﾄﾐｵ) 殿
独立行政法人
自動車事故対策機構
2022年 11月18日に原口 富夫(ﾊﾗｸﾞﾁﾄﾐｵ) 殿が受診なさった「一般診断」の結果は次の通りです。安全運転のためにご活用ください。
[1] 総合所見
(1) 運転傾向
○良い点が認められた項目
動作の正確さ(80点)
判断・動作のタイミング(80点)
●運転時に注意していただきたい点
危険感受性に欠ける場合があるようです(40点)
(2) あなたの働き方や生活習慣は非常に良い状態にあります
(3) 睡眠時無呼吸症候群に関する一般的な参考情報をお知らせします
[2] 運転傾向についての診断結果
判断・動作のタイミング
危険感受性
動作の正確さ
安全態度
注意の配分
グラフの見方：円の外側へいくほど状態が良好です。着色された項目については特に注意が必要です。



初任運転者でも　・65歳以上の場合 › 適齢診断を受ける。
・事故惹起者は › 特定診断を受ける。

適性診断では何を見る？

◎運転に関する適性のチェックや、性格診断などを行います。

・視覚機能
・注意の配分
・判断、動作のタイミング
・動作の正確さ



2 性格に関する測定結果の利用方法

性格に関する測定項目

感情の安定性

車を安全に走行させるためには、運転をする人の感情が安定していることが大切。



協調性

自動車を運転して道路を安全に利用するためには、自分以外の道路利用者との協調性が大切。



気持ちのおおらかさ

例えば、せっかちであることは、運転限って考えるとプラスに働くことは少なく、おおらかな気持ちの方が有利となる。



他人に対する好意

他人に対する感情は、安全な自動車の運転に大きな影響を及ぼし、他人に好意的であるということは、安全な運転に資すると考えられる。



診断結果の活用 ～性格～

性格は運転に大きく影響する要素ですが、適性診断によって指摘された結果を、『必ず直さなければならない』と考える必要はありません。

もし事故につながりやすい性格特性が認められるようであれば、その特性が運転時に表面化しないようにする方法を指導者と一緒に考える機会にする、などといった活用方法があります。





診断結果の活用 ～性格～

安全運転態度とは、運転という、一つ間違えると、人命にかかわるような行動に対する、その人の『かかわり方』つまり『態度』を測定するものです。



この項目の数値が悪い方は、自動車の運転への気持ちの持ち方をもう一度見直す必要があります。

診断結果の活用　～認知・処理機能～

認知・処理機能は、主に運転に必要な身体的な能力の状態を測定するものです。
以下のような場合には運転に際して気を付けるべき点があります。

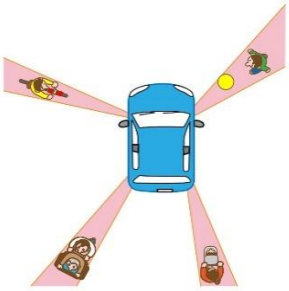
危険感受性

危険感受性とは、『危険を感じる感覚の敏感さ』を測定するものです。
「危険感受性」が低い場合は『かもしれない運転』の基本に立ち返りましょう。



注意の配分

注意の配分では、運転中の注意をどの程度の範囲に広げられるかを測定します。
運転には、前方、側方、後方など幅広い範囲での注意が必要であり、その能力に欠ける場合は、事故を起こす可能性が高くなります。



この部分の診断結果が低い方は、注意を狭い場所に集中させず、幅広い視野を持つように心がけて運転しましょう。

動作の正確さ、判断動作のタイミング

動作の正確さ、判断動作のタイミングでは、次々に起こる事態に対して、正確かつ素早い反応ができるかどうかを測定します。



この部分の結果が低い方は、無理に素早い判断をしようとせずに、ゆっくりでもいいので、正確な操作ができるように心がけて運転しましょう。

2

旅/貨 共通

乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項
主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況（旅客）
適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況（貨物）
危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

テーマ

道路冠水に対する注意

■ 押さえておきたいポイント

1 冠水場所は通行しない、近づかない

2 冠水場所を通過できるか、適切に判断しよう

3 冠水にはゆっくりと侵入し、ギアは低め、回転数は高めに

4 ドアが開かなくても、焦らずに行動しよう

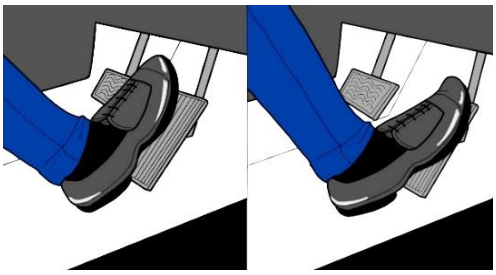
1 目の前に冠水道路が現れたら？

高速道路など早い速度で走行する道路で冠水の可能性が察知できたら

減速の動作に入る

すぐに・アクセルを戻し
・ブレーキを慎重に操作するなど

減速の動作に入ることが大切です。



一般道で、目の前に冠水している道路があらわれた場合は

すぐにルートの変更を考える

運行管理者に連絡をとり、指示をあおぎましょう。

・Uターンをして、もと来た道を戻る、
・左折、右折などでルートを変更できるかどうか、

すぐに検討を開始することが大切です。



冠水場所の基本原則

通行しない
出来るだけ近づかない

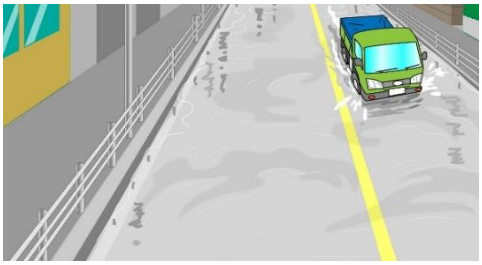


2 冠水の程度を判断する

冠水場所の手前で、Uターンやルート変更をすることができない場合は、冠水場所を安全に通行できるかどうかを判断することになります。

もし先行している車両がいれば、その様子をよく観察し、自分の車両が通行できるか判断しましょう。

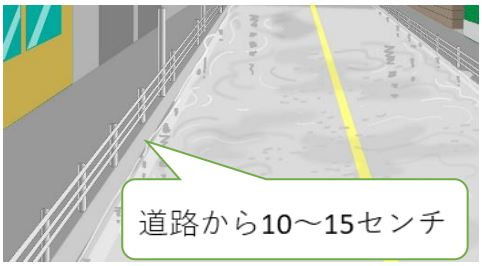
通行している車両がいなければ、道路上の何かを目安にして、冠水の深さを読み取る必要があります。一番深い部分の深さを、歩道やガードレールと水面との差で判断して、通行の可否を判断してみましょう。



冠水している道路を安全に走れるかどうかの判断材料のひとつとして、冠水がマフラーの高さにまで達しているかどうか、ということがあります。

ガードレールを目安に冠水の程度を判断する

一般的に、幹線道路の歩道は、道路から10センチ、15センチくらいの高さで作られています。
また、ガードレールのガードの一番下部分は、道路から60センチ程度のところが目安となっています。



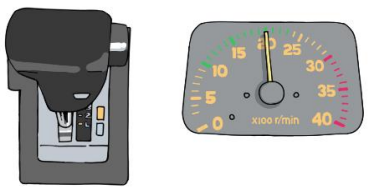
3 冠水時の運転方法

冠水している道路を走行する上で、もっとも注意しなければならないのは、冠水道路内での車両停止です。
以下の2点に気をつけて、エンジンが止まらないように気をつけましょう。

冠水にはゆっくりと侵入



ギアは低め、回転数は高めに



※車両の走行性能には、車種によって大きな違いがあります。
詳しくは、メーカーに問い合わせをしましょう。

4 冠水道路の中で止まってしまったら？

もし冠水道路の中で車両が停止してしまっても、水位が急上昇するなどの差し迫った危険がない場合は、運行管理者や安全統括管理者に相談をして、乗客や荷物にとって、もっとも負担の少ない選択をするようにします。



では、ドアの最下部の高さを水位が超えてドアが開かない場合はどうしたらいいでしょうか。

実は、水没によって自動車のドアが開きにくくなるのは、外側にある水の圧力車のドアが押されることが原因です。

水が車内に進入し外と中の水圧差がなくなれば、ドアは多少重いものの開くことができるようになるので、焦らずに行動しましょう。



3
旅/貨 共通

危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

テーマ

駅前ロータリーでの危険回避
シミュレーショントレーニング

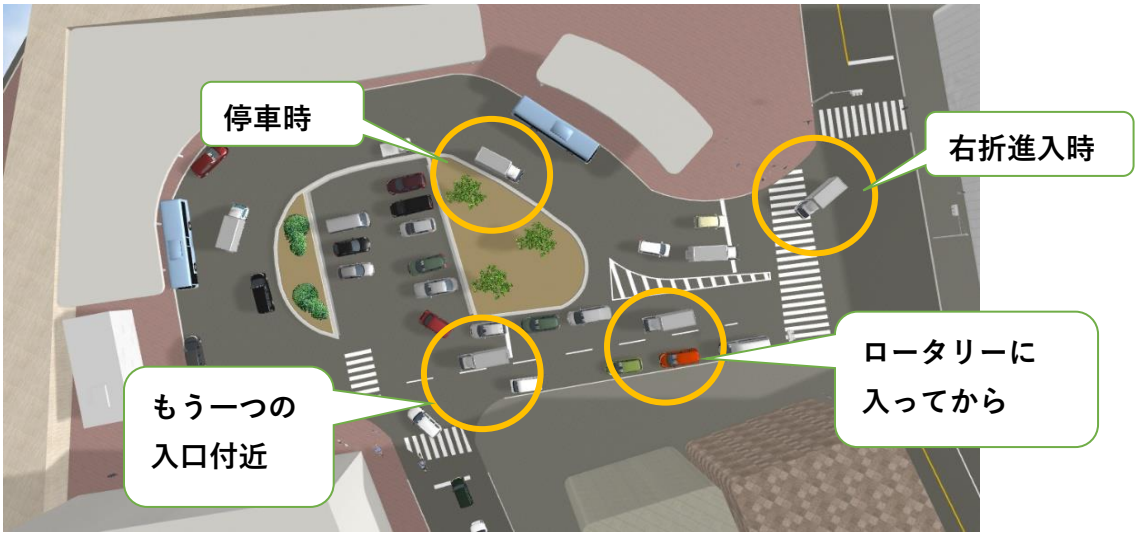
■ 押さえておきたいポイント

1 駅前ロータリーは危険の宝庫

2 普段よりも、様々な方向に気を配る

1 駅前ロータリーに右折で進入する場合の注意点

例えば下のような駅前ロータリーに右折で進入し搬入作業を行う場合の四つのポイントを取り上げてみます。



ロータリーへの右折進入時に注意すべき点

右折先の横断歩道

右折先の横断歩道では、歩行者や自転車の急な飛び出しがないか、細心の注意が必要です。

左折でロータリーに入る車

交差点では左折車両が優先です。このような複雑な環境の交差点では、特にルールを厳守するようにしましょう。



ロータリーから出てくる車

出入口が一つの場合、こちらに出てくる車にも注意を怠らないようにしましょう。

2 ロータリーで駐車待ちをする場合の注意点

駐車待ち車両からの飛び出し

駅のロータリーで駐車場待ちをしているということは、駅そのもの、または駅周辺の施設に用事があるということなので、『先に車を降りて用事を済ませる』などの理由で、ドアが急に開いて、人が降りてくる可能性があります。特に、助手席のドアの動きには、十分に注意しましょう。



左の停車車両の急発進

また、駐車場待ち渋滞の列から、突然こちらの車線に出てくる車両にも注意が必要です。
一般道と違って、左右に止まっている車があるのも、ロータリーでの特徴です。



ロータリー内では左右両方の車両へ注意を払う必要があります。
突発的な相手の動きに備えて
徐行を守り、いつでも停止できる状態を保つことが重要です。

3 ロータリーの中央部に近づいたときの注意点

脇道からロータリーに進入してくる車両

駅前のロータリーの中には、複数の入り口をつところがあるので、進入してくる車両やバイクに注意が必要です。



駅に向かって車道を走る通行人

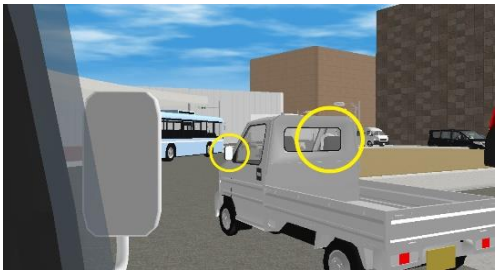
急いでいる歩行者が、ロータリーをショートカットする可能性があります。
特に、夜の時間帯に、お酒で酔った歩行者は、普段とまったく違う行動をとることがありますので、十分に注意しましょう。



4 ロータリーに駐車するときの注意点

他の車両の動き出し

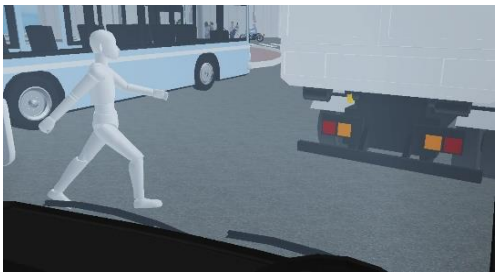
停車しようとした場所の後ろにいる車両が出発する可能性があります。
他の車両の運転席に誰か乗っているか目視しドライバーが乗っている場合は、こちらに気がついているかどうか、確認するようにしてください。



5 発進時の注意点

左側を通行する車両やバイク、自転車の確認

左側を通行する車両やバイク、自転車の確認をしましょう。
同じように、ロータリーを利用している、別のドライバーが歩行者として通行している可能性もありますので、十分に注意し、最徐行をしながら、自分の通行帯を確保しましょう。



前方に停車していた、別の車両との間隔

前方の車両が、発進のために、一度バックしてくる可能性もあるため、左側と前方の両方に注意しましょう。



旅客／貨物 乗務員教育テキスト
2022（令和4）年 12月
企画・監修／発行
株式会社付加価値ファクトリー
〒350-0214
埼玉県坂戸市千代田3-7-10-A210
TEL 0120-359-555